RasterLinkTools ガイド

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/
D203626-23

目次

ご注意 3
この説明書について 4
本文中の表記について 4
マークについて 4
本書および関連説明書の入手方法 4
本書で使用している図について 4

第 1 章 RasterLinkToolsの概要とセットアップ

1.1 RasterLinkToolsの機能 6
1.2 システム要件 7
1.3 インストールとバージョンアップ 8
Windows版RasterLinkTools for Illustratorのインストール・バージョンアップ手順 8
Macintosh版RasterLinkTools for Illustratorのインストール・バージョンアップ手順 11

第 2 章 RasterLinkToolsの操作

2.1 RasterLinkToolsの画面構成 14
2.2 RasterLinkToolsの操作 19
カットパスを作成する 19
オブジェクトの外周にカットパスを作成する 20
オブジェクトの輪郭を抽出する 23
特色版ジョブ用の画像データを作成する 26
RasterLink用データを保存する 31
Kebab　テーバー印刷用画像データを作成する 32
RasterLinkToolsの設定を変更する 34
RasterLinkToolsの更新を確認する 35

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、macOSは、Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Windows 11は、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この説明書について

本書では、Mimaki RasterLinkToolsのインストールと使用方法について説明します。

本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[OK]、[ファイルを開く]のように[ ]で囲っています。
- RasterLink6Plus、RasterLink7とRasterLink8をまとめてRasterLinkと称しています。

マークについて

内容		
重 要!	重要	「重要」マークは、本ツールをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/download/software.html）

本書で使用している図について

本書ではRasterLink7の図を使用して説明しています。

第 1 章　RasterLinkToolsの概要とセットアップ

この章では...

RasterLinkToolsの概要と、RasterLinkToolsを使用するために必要なセットアップについて説明します。

RasterLinkToolsの機能.....6
システム要件.....7
インストールとバージョンアップ.....8
Windows版RasterLinkTools for Illustratorのインストール・バージョンアップ手順.....8
Macintosh版RasterLinkTools for Illustratorのインストール・バージョンアップ手順.....11

1.1 RasterLinkToolsの機能

RasterLinkToolsは、RasterLink6以降にて以下のジョブ用の画像データを作成するためのAdobe Illustrator用のプラグインソフトウェアです。

RasterLinkとは別にインストールします。インストール方法については☞「インストールとバージョンアップ」（P. 8）をご覧ください。

重要！
- RasterLinkToolsで作成した特色版用を除く、各種データは、RasterLinkPro5以前のRasterLinkシリーズでは、それらの用途として使用できません。

● 作成できるデータ

ジョブの種類	対応プリンター	別冊ドキュメント名
プリント＆カット	CJVシリーズ、UCJVシリーズ(RasterLink7以降)、CG-AR	
ホワイト用データ	ホワイト搭載機	
シルバー/メタリックカラー版用データ	シルバー搭載機	メタリックカラーガイド
多層印刷	UCJVシリーズ、UJ330H	多層印刷ガイド
透かし印刷	UCJV330、UJ330H	多層印刷ガイド
点字印刷	UJFシリーズ、JFX200-1213EX、JFX200-2513EX	点字印刷ガイド、高速点字印刷ガイド
2.5D印刷	JFXシリーズ、UJF-7151plusII、UJF-7151plusII e、UCJV330、UJ330H	2.5D Texture Makerガイド

- プリント＆カットおよびホワイト版以外のデータの作成および出力方法の詳細についてはプリンター毎に別冊にてドキュメントが用意されています。弊社Webサイトの各プリンターのマニュアルダウンロードページにございますのでご覧ください。

1.2 システム要件

RasterLinkToolsをインストールして使用するためには、以下の条件が必要です。

● RasterLinkTools for Illustrator

	Windows	Macintosh
PC	Pentium プロセッサー または互換プロセッサー搭載のIBM PC または互換機	Power PC またはIntel CPU、Apple M1を搭載したMacintosh
OS	Microsoft Windows 7 (32bit版/ 64bit版) Microsoft Windows 8.1 (32bit版/ 64bit版) Microsoft Windows 10 (32bit版/ 64bit版) Microsoft Windows 11 (64bit版)	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.11 macOS 10.12～26
ソフトウェア	• Adobe Illustrator 8.0.1, 9, 10, CS, CS2, CS3, CS4, CS5, CS6, CC, CC2014, CC2015, CC2015.3, CC2017, CC2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026	• Adobe Illustrator 10, CS, CS2, CS3, CS4, CS5, CS6, CC, CC2014, CC2015, CC2015.3, CC2017, CC2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026
その他	使用するAdobe Illustratorの動作環境に準拠	

お使いのRasterLinkToolsのバージョンによって、対応OS、対応ソフトウェアのバージョンが異なります。詳しくは弊社公式サイトをご覧ください。

重 要！
- 記載の動作仕様において、弊社ソフトウェアが正常に動作しない場合は、OS／Illustrator／ブラウザ等のバージョンが影響している可能性があります。
  OS／Illustrator／ブラウザ等のバージョンが古い場合は、お使いの環境を最新バージョンに更新してお使い頂くことを推奨します。

● 対象RasterLink製品

RasterLinkToolsで作成したデータは以下のRasterLink製品で使用可能です。ただし、プリンターにより対応していないデータがあります。

詳しくは「RasterLinkToolsの機能」をご覧ください。

- RasterLink6 Plus
- RasterLink7
- RasterLink8

1.3 インストールとバージョンアップ

重要！ • RasterLinkToolsはRasterLink6以降に対応しています。

Windows版RasterLinkTools for Illustratorのインストール・バージョンアップ手順

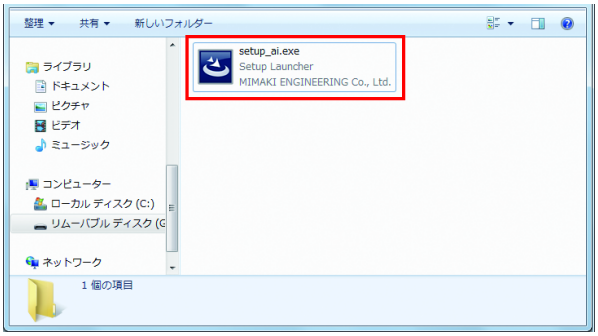
1 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/download/software.html）からRasterLinkTools for Illustratorのインストーラーをダウンロードします。

重要！ • Adobe Illustrator 64 bitの場合は、RasterLinkTools for Illustrator (64bit)のインストーラーをダウンロードします。

2 Illustratorがインストールされているpcにインストーラーを保存します。

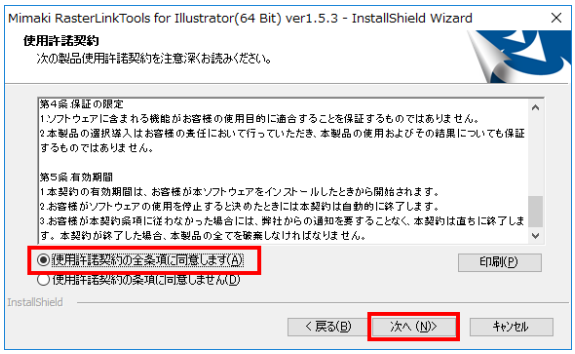
3 インストーラーをダブルクリックします。

• インストーラーが起動します。

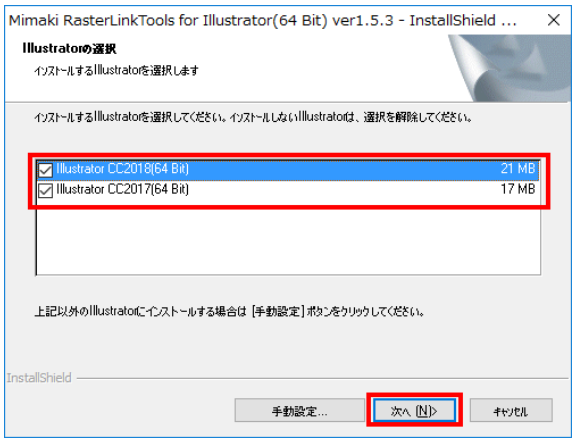


4 [次へ]をクリックします。

5 [使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]をクリックします。



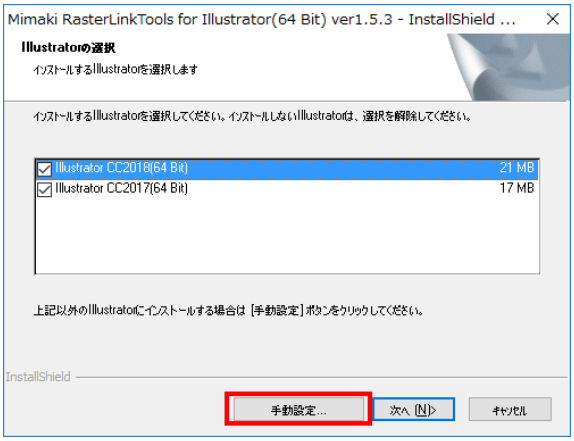
6 **RasterLinkToolsをインストールするIllustratorのチェックボックスをオンにし、[次へ]をクリックします。**



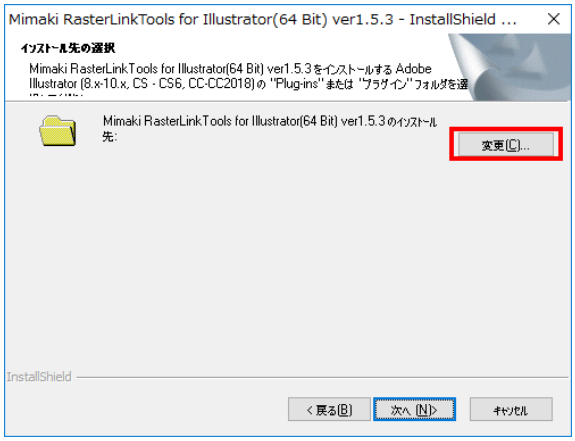
- お使いのIllustrator がリストに表示されない場合

(1) [手動設定]をクリックします。

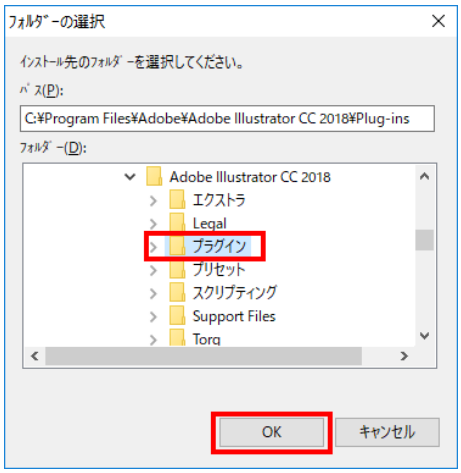
- インストール先を指定する画面が表示されます。



(2) 変更をクリックします。



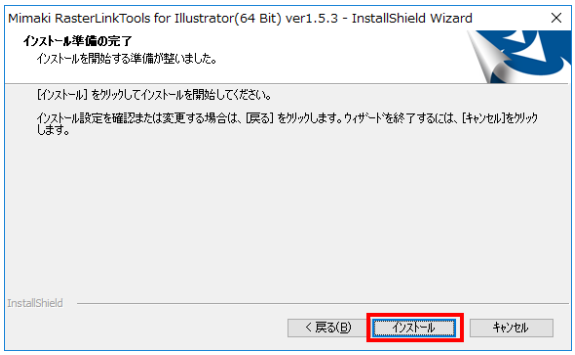
(3) お使いのIllustratorのインストールフォルダー内にある"Plug-ins"フォルダーまたは"プラグイン"フォルダーを選択し、[OK]をクリックします。



7 [次へ]をクリックします。

8 [インストール]をクリックします。

- インストールが始まります。



9 完了をクリックします。

- 以上でインストールは終了です。

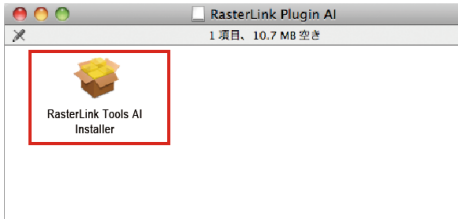
Macintosh版RasterLinkTools for Illustratorのインストール・バージョンアップ手順

1 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/）からRasterLinkTools for Illustratorのインストーラーをダウンロードします。

2 Illustratorがインストールされているpcにインストーラーを保存します。

3 インストーラーをダブルクリックします。

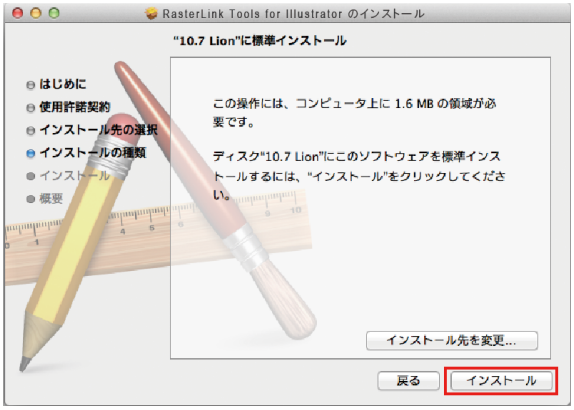
- インストーラーが起動します。



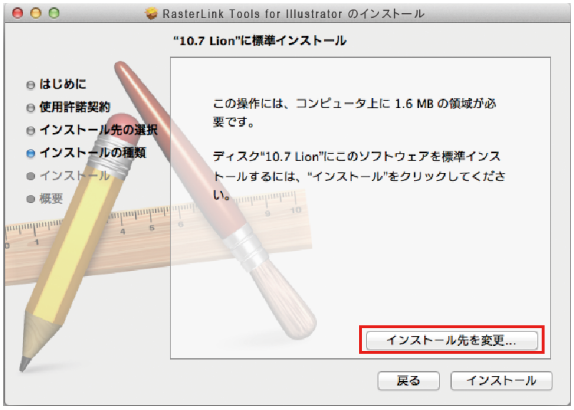
4 画面に従って[続ける]をクリックします。

5 使用許諾画面では、[同意する]をクリックします。

6 [インストール]をクリックします。

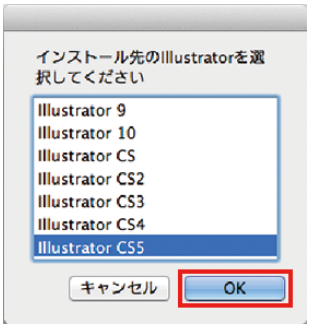


- この画面で表示されているディスクに、インストールするIllustrator が無い場合は、[インストール先を変更]をクリックしてディスクを選択します。
- 選択後、[インストール]をクリックします。



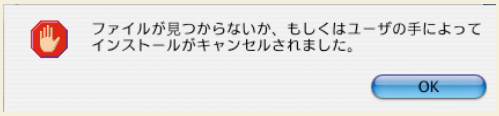
7 インストールするバージョンのIllustratorを選択し、[OK]をクリックします。

- インストールが始まります。



選択したIllustrator が見つからない場合

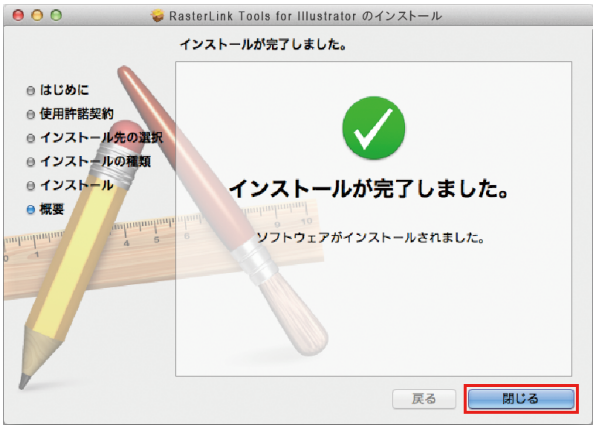
- MacOS10.6まで
  エラーメッセージが表示されます。



- MacOS10.7以降
  [Plug-ins]フォルダーまたは[プラグイン]フォルダーを選択し、[選択]をクリックします。

8 [閉じる]をクリックします。

- 以上でインストールは終了です。



第 2 章　RasterLinkToolsの操作

この章では...

RasterLinkToolsのメニュー項目と操作方法について説明します。

RasterLinkToolsの画面構成 14

RasterLinkToolsの操作.....19
カットパスを作成する 19
オブジェクトの外周にカットパスを作成する 20
オブジェクトの輪郭を抽出する.....23
特色版ジョブ用の画像データを作成する ...26
RasterLink用データを保存する 31
Kebab　テーバー印刷用画像データを作成する 32
RasterLinkToolsの設定を変更する 34
RasterLinkToolsの更新を確認する 35

2.1 RasterLinkToolsの画面構成

● [Mimaki RasterLink]ウィンドウの表示方法

Adobe Illustratorで[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink]を選択してください。

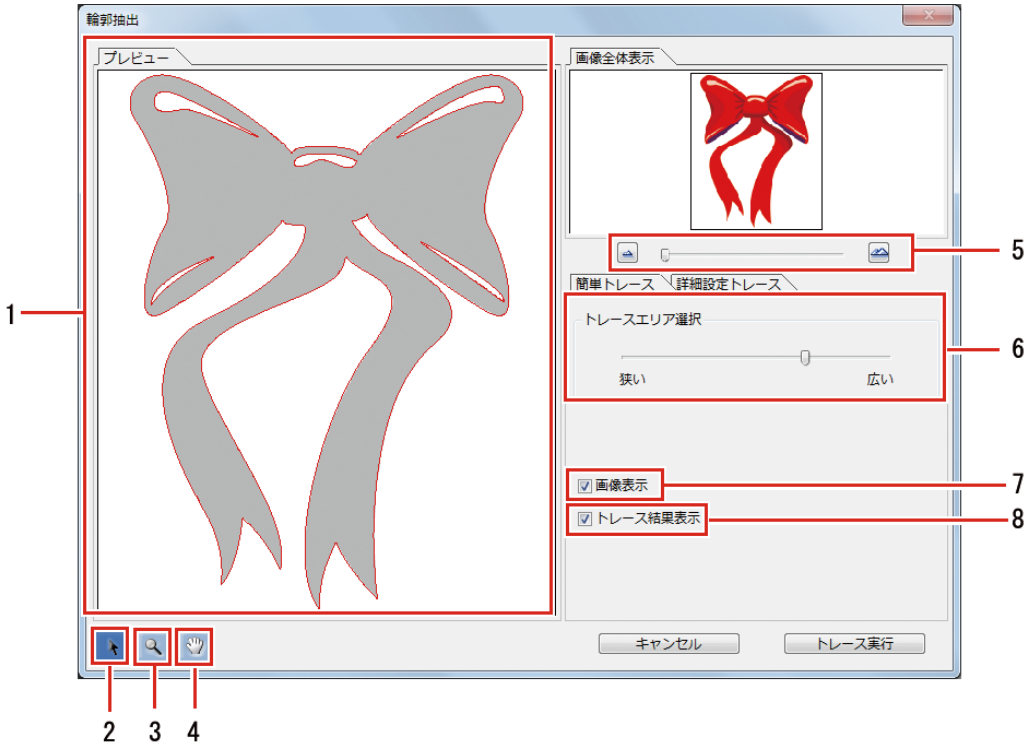
- [Mimaki RasterLink]ウィンドウが開きます。

● メニュー一覧

ボタン	機能	説明
	カットライン変換	選択したオブジェクトをカットパス用のスポットカラーに変換します。
	フレーム抽出	選択したオブジェクトにフレームを作成します。(☞ P. 20)
	輪郭抽出	ビットマップイメージのアウトラインを作成します。(☞ P. 23)
	型抜き	ビットマップイメージを指定したベクターオブジェクトで切り抜き、別のレイヤーに切り抜いた画像と切り抜かれた画像を作成します。(☞ P. 26)
	RasterLink出力	RasterLink用のデータを保存します。(☞ P. 31)
	設定	特色レイヤー印刷を設定をします。(☞ P. 34)
	RasterLinkToolsについて	RasterLinkToolsの更新情報を表示します。(☞ P. 35)
	多層印刷-レイヤー生成	表面、裏面レイヤーの間に白層、黒層のレイヤーを作成します。 詳しくは、別冊「多層印刷ガイド」をご覧ください。
	多層印刷	多層印刷ーレイヤー生成機能で作成した、複数層のレイヤーをRasterLinkへ送ります。 詳しくは、別冊「多層印刷ガイド」をご覧ください。
	点字機能 RL出力	点字印刷をするための画像データと印刷の設定をRasterLinkへ送ります。 詳しくは、別冊「点字印刷ガイド」、「高速点字ガイド」をご覧ください。
	2.5D機能 RL出力	画像と重ね塗りの設定をRasterLinkへ送ります。 詳しくは、別冊「2.5D Texture Makerガイド」をご覧ください。
	透かし印刷	カラー版と透かしたい画像をプリントした特色版を重ねて印刷することで、画像の後ろ側から光を当てた時に特色版の画像が透けて見えるデータを作成します。 詳しくは、別冊「UCJV330　多層印刷ガイド」をご覧ください。
	Kebabテーパー印刷	Kebabシステムにてテーパー状の円筒に印刷するための画像データを作成します。(☞ P. 32)

● [輪郭抽出]画面 - [簡単トレース]タブ

ビットマップイメージを選択し、[ファイル] - [RasterLink] - [輪郭抽出]を選択、または、[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックすると[輪郭抽出]画面が表示されます。



1 [プレビュー]タブ

- 画像（モノクロ）とトレース結果を表示します。

2 [ ]

- 表示しているオブジェクト全体を移動します。

3 [ ]

- プレビュー表示を拡大、縮小します。
- プレビュー上でクリックすると、拡大して表示します。
- [Alt]キー（Windows版）、[Option]キー（Macintosh版）を押しながらクリックすると、縮小して表示します。

4 [ ]

- オブジェクトを表示する領域を変更します。

5 [ ][ ]

- プレビューの表示倍率を変更します。

6 [トレースエリア選択]

- スライダーをドラッグして、トレースしたい部分を選択します。
- [狭い]の方へ動かすと、より狭い範囲をトレースします。
- [広い]の方へ動かすと、より広い範囲をトレースします。

7 **[画像表示]**

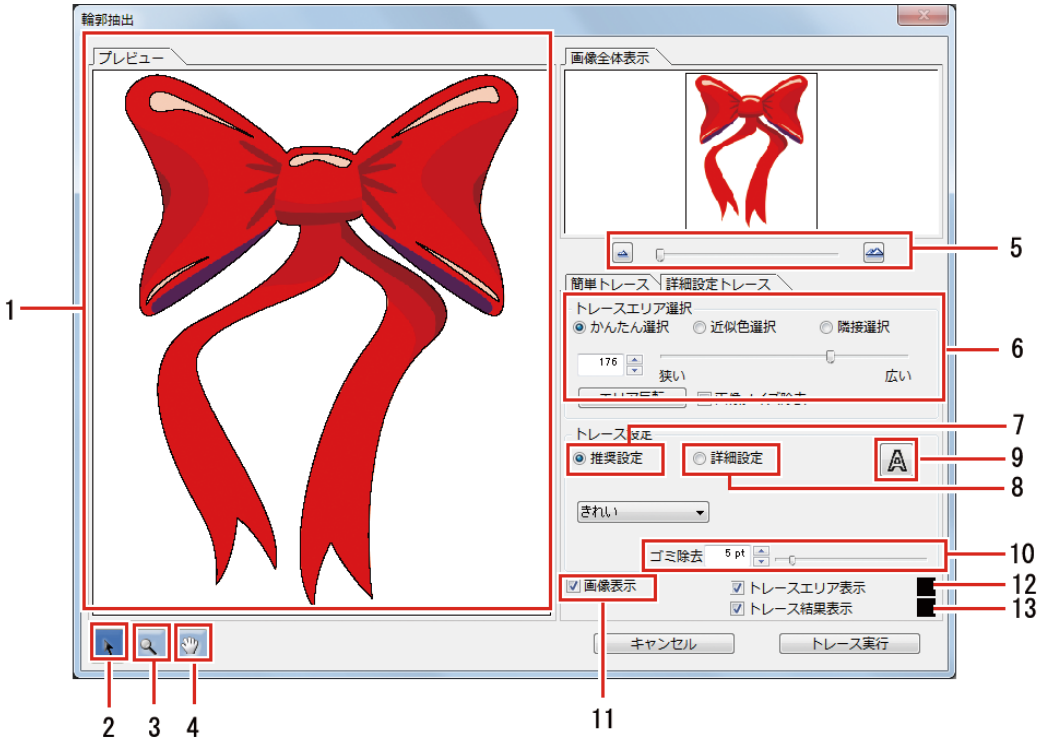
- 元の画像をプレビューに表示するかを設定します。
- オンにすると、トレースエリア選択で設定したトレースエリアがグレーで表示されます。
- 抽出する線分の確認や、トレース結果と元画像の比較ができます。

8 **[トレース結果表示]**

- トレース結果をプレビューに表示するかを設定します。

● [輪郭抽出]画面 - [詳細設定トレース]タブ

[ファイル] - [RasterLink] - [輪郭抽出]を選択、または、[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックすると[輪郭抽出]画面が表示されます。



1 [プレビュー]タブ

- 画像とトレース結果を表示します。

2 [ ]

- 表示しているオブジェクト全体を移動します。

3 [ ]

- プレビュー表示を拡大、縮小します。
- プレビュー上でクリックすると、拡大して表示します。
- [Alt]キー（Windows版）、[Option]キー（Macintosh版）を押しながらクリックすると、縮小して表示します。

4 [ ]

- オブジェクトを表示する領域を変更します。

5 [ ][ ]

- プレビューの表示倍率を変更します。

6 [トレースエリア選択]

7 [トレース設定（推奨設定の場合）]

8 [トレース設定（詳細設定の場合）]

9 [ ]

- トレース結果をプレビューに表示するかを設定します。

10 [ゴミ除去]

- 設定したポイント以下のゴミを除去します。

11 [画像表示]

- オンにすると、プレビューに画像が表示されます。

12 [トレースエリア表示]

- オンにすると、トレースエリアが設定した色でプレビューに表示されます。

13 [トレース結果表示]

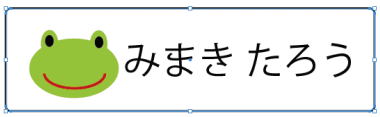
- オンにすると、トレース結果が設定した色でプレビューに表示されます。

2.2 RasterLinkToolsの操作

カットパスを作成する

RasterLinkのプリント＆カット用にカットパスを作成します。

1 **Adobe Illustratorで、カットしたいパスを選択します。**



2 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

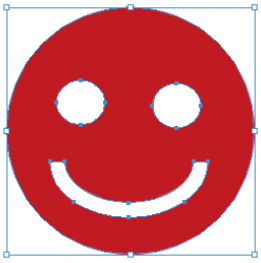
- または、[ファイル] - [RasterLink] - [カットライン変換]を選択します。

- カットするパスの色として、"CutContour"という名前のスポットカラーが設定され、塗りが無しに変換されます。

オブジェクトの外周にカットパスを作成する

オブジェクトの外周に沿ってカットパスを作成します。
オブジェクトの内側の空白(中枠)を抜くようなカットパスを作成することもできます。

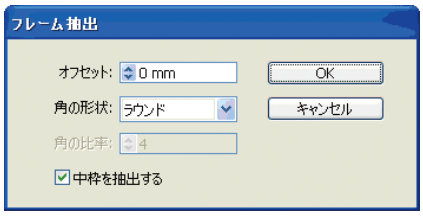
1 **Adobe Illustratorで、カットパスを作成するためのオブジェクトをすべて選択します。**



2 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

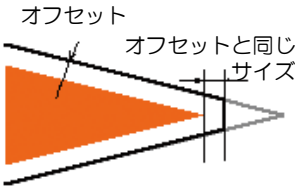
- または、[ファイル] - [RasterLink] - [フレーム抽出]を選択します。
- [フレーム抽出]ダイアログが表示されます。

3 **[フレーム抽出]ダイアログで、カットパスを設定します。**

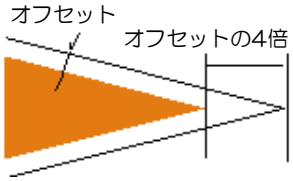


- [オフセット]：
  オブジェクトからカットパスまでの間隔を設定します。
- [角の形状]：
  マイター、ラウンド、ベベルの3種類から選択できます。

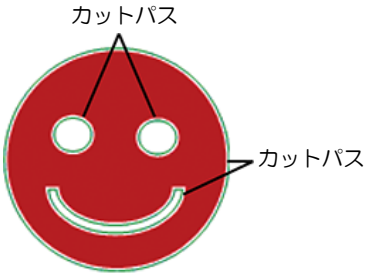
- [角の比率]：
  マイターを選択した場合、角の比率を設定できます。
  - 角の比率：1のとき
    オブジェクトの角からオフセット分出たところで、カットパスの角を切り落とします。



  - 角の比率：4のとき
    オブジェクトの角からオフセットの4倍出たところまで、カットパスの角を伸ばします。
    この図では、カットパスの角は切り落とされません。角の比率を4倍以上に設定しても、角の形状は変わりません。

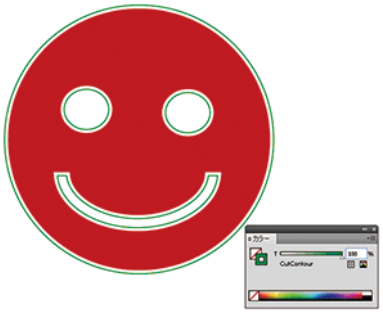


- [中枠を抽出する]：
  オンにすると、オブジェクトの外枠だけでなく、オブジェクト内部の空白を抜くようにカットパスを作成します。
  - オン
    オブジェクト内部の空白部分にもカットパスが作成されます。



  - オフ
    オブジェクトの外周のみにカットパスが作成されます。

カットするパスの色として、"CutContour"という名前のスポットカラーが設定され、塗りが無しに変換されます。



- 作成されたパスの線の色は初期設定では以下のようになります。
  - 名前： CutContour
  - カラータイプ：特色
  - 色： Cyan 100%、Magenta 0%、Yellow 100%、Black 0%
- "CutContour"の後に文字列（CutContourCut1、CutContourHalfなど）を続けることができます。これにより、カット条件を変えた複数のパスを作成することができます。
  "CutContour"の後の文字列は半角英数字にしてください。
- スポットカラーの設定方法については別冊「RasterLink　リファレンスガイド」の「Adobe Illustratorでスポットカラーを設定する方法」をご覧ください。

オブジェクトの輪郭を抽出する

BMP、JPEG、TIFFなど、ラスターオブジェクトの輪郭を抽出し、パスを作成します。
色を設定して、同じ色の部分のみ輪郭を抽出することもできます。

● 簡単トレース

ラスターオブジェクトの輪郭を抽出します。

1 **Adobe Illustratorで、輪郭を抽出するためのオブジェクトを選択します。**

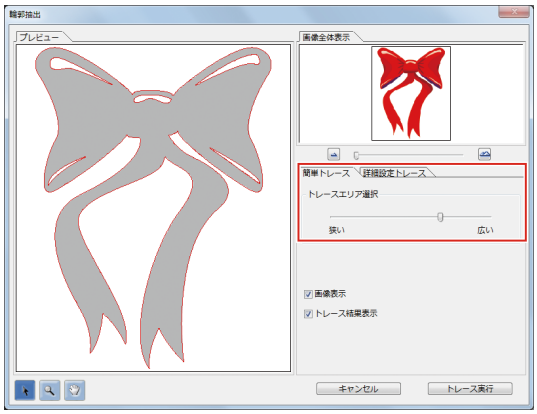
2 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [輪郭抽出]を選択します。
- [輪郭抽出]ダイアログが表示されます。

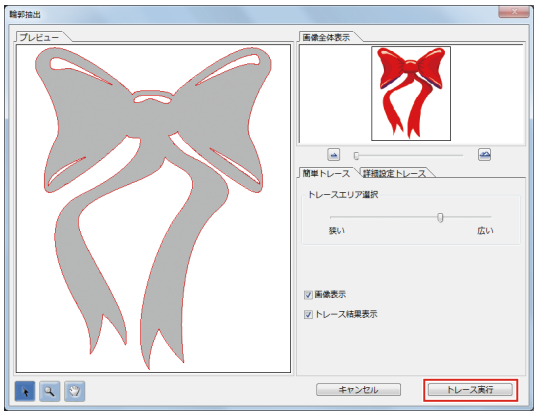
3 **[輪郭抽出]ダイアログ - [簡単トレース]タブを選択します。**

4 **トレースの範囲を変更したい場合は、トレースエリア選択のスライダーをドラッグします。**

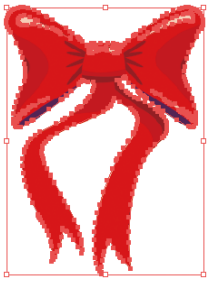
- トレース範囲が変更されます。
- プレビューにトレース結果が表示されます。



5 [トレース実行]をクリックします。



- [RLトレースレイヤー]にパスが作成されます。



- 作成したパスは、☞「オブジェクトの外周にカットパスを作成する」（P. 20）を行うことでプリント＆カットに利用できます。
- スポットカラー名ごとに、異なるカット条件を設定できます。
- クリックするたびに、[RLトレースレイヤー1]、[RLトレースレイヤー2]...と、新たなレイヤーにパスが作成されます。

● 詳細設定トレース

ラスターオブジェクトの輪郭を詳細な設定で抽出します。
簡単トレースでトレースしたオブジェクトに対して、更に詳しく設定したい場合や、特定の色や範囲の輪郭をトレースする場合にお使いください。

1 **Adobe Illustratorで、輪郭を抽出するためのオブジェクトを選択します。**

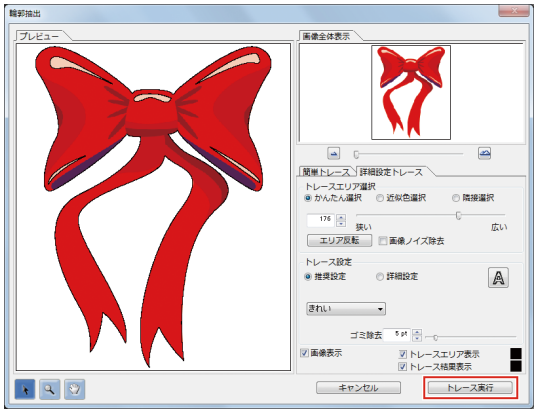
2 **[ウィンドウ] - [MimakiRasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [輪郭抽出]を選択します。
- [輪郭抽出]ダイアログが表示されます。

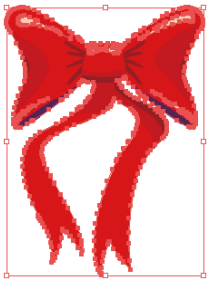
3 [輪郭抽出]ダイアログ - [詳細設定トレース]タブを選択します。

4 トレースエリア選択とトレース設定で、トレース方法の詳細を設定します。

5 [トレース実行]をクリックします。



- [RLトレースレイヤー]にパスが作成されます。



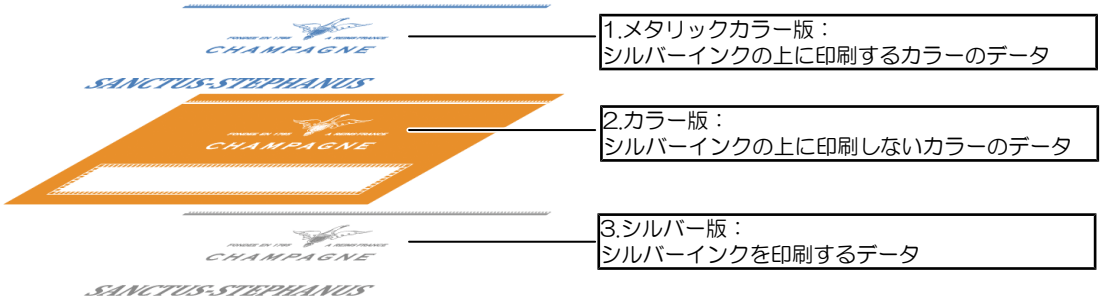
- 作成したパスは、☞「オブジェクトの外周にカットパスを作成する」（P. 20）を行うことでプリント＆カットに利用できます。
- スポットカラー名ごとに、異なるカット条件を設定できます。
- クリックするたびに、[RLトレースレイヤー1]、[RLトレースレイヤー2]...と、新たなレイヤーにパスが作成されます。

特色版ジョブ用の画像データを作成する

Adobe Illustratorを使って、特色版ジョブ用の画像データを作成します。

● 例：メタリックカラーを印刷するためのデータを作成する

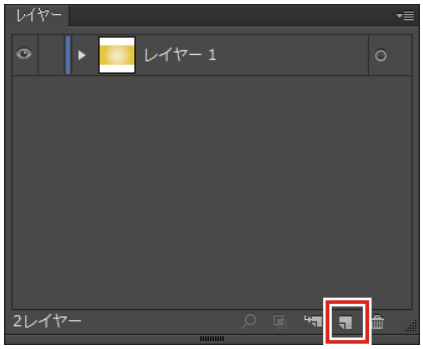
印刷用データの一部をSS21インクのシルバーインクで印刷する場合、以下の3種類の版を準備します。



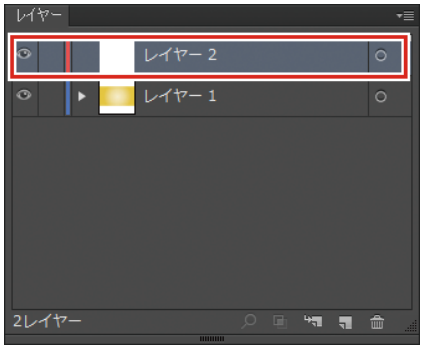
RasterLinkToolsの型抜き機能を使用すると、この3種類の版用のデータを簡単に作成することができます。

1 印刷用データのレイヤーの上に、シルバー版用のレイヤーを作成します。

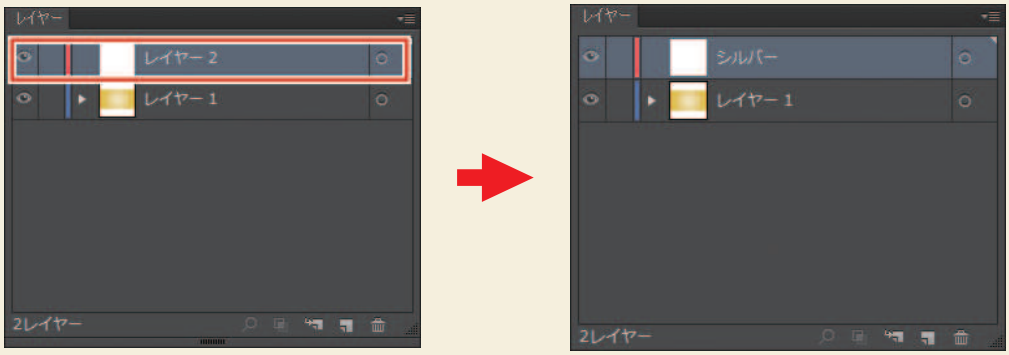
- レイヤータブ右下の[新規レイヤー作成]アイコンをクリックします。



- 新規レイヤーが現れます。



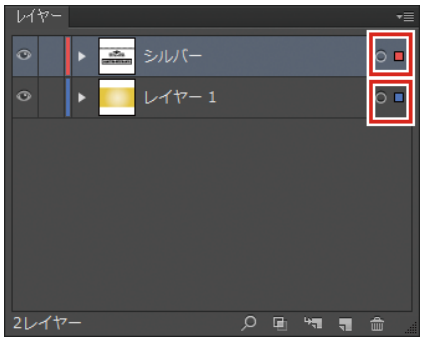
- レイヤーをダブルクリックすると、名前を変更できます。



2 シルバー版用のレイヤー内に、シルバーインクで印刷する範囲のパスを作成します。

重要!
- シルバーインクで印刷する範囲は必ずパスにしてください。
  画像データがあると型抜きの対象から除外されます。
- シルバーインクで印刷する範囲のパスは、必ず以下の条件に設定してください。
  - 塗り:K100
  - 線:塗りなし

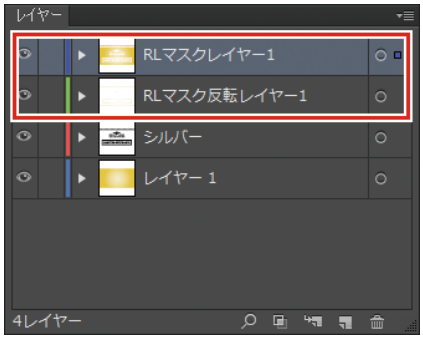
3 **[Shift]**キーを押しながら印刷用データのレイヤーと、シルバー版用のレイヤーを選択します。



重要!
- 表示されているレイヤーに対して、型抜きが適用されます。型抜きをしないレイヤーは非表示にしてください。

4 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]**アイコンをクリックします。

- [RLマスクレイヤー1]（メタリックカラー版ジョブ用のデータ）、[RLマスク反転レイヤー1]（カラー版ジョブ用のデータ）が作成されます。



- 詳細については、各プリンターの「メタリックカラー印刷ガイド」をご覧ください。

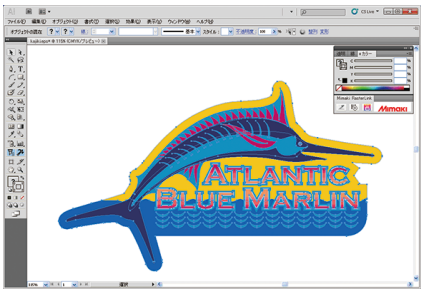
● 画像のすべてに特色インクを印刷する

[版作成]で、[有効画素]を選択して特色版ジョブ作成した場合、ジョブ内の白の部分（例：以下の文字の輪郭と波の部分）には特色インクが印刷されません。そのまま印刷すると、白の部分はメディアの下地が見えてしまいます。

このような場合、RasterLinkToolsを使って、ジョブのすべてに特色インクを印刷するための、特色用画像データを作成します。

1 **Adobe Illustratorで画像データを開きます。**

2 オブジェクトをすべて選択します。

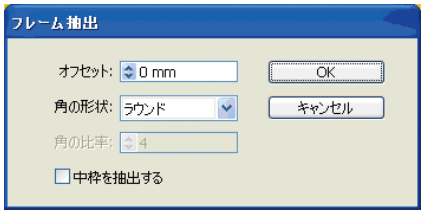


3 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [フレーム抽出]を選択します。
- [フレーム抽出]ダイアログが表示されます。

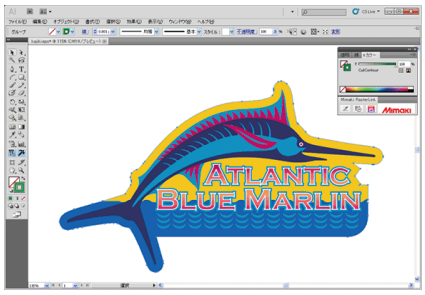
4 **[フレーム抽出]ダイアログで、以下のようにパスを設定します。**

[オフセット] ： 0mm
[中枠を抽出する] ： オフ



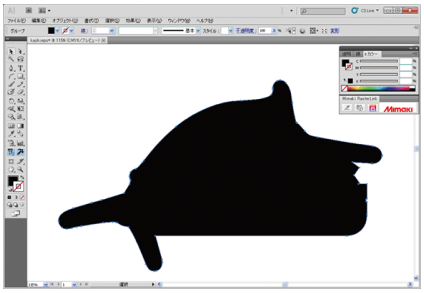
5 **[OK]をクリックします。**

- すべてのオブジェクトを囲むパスが作成されます。



6 **手順5で作成されたパスを選択し、以下のように色を変更します。**

線 ： なし
塗り ： ブラック100%



7 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [RasterLink出力]を選択します。
- [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

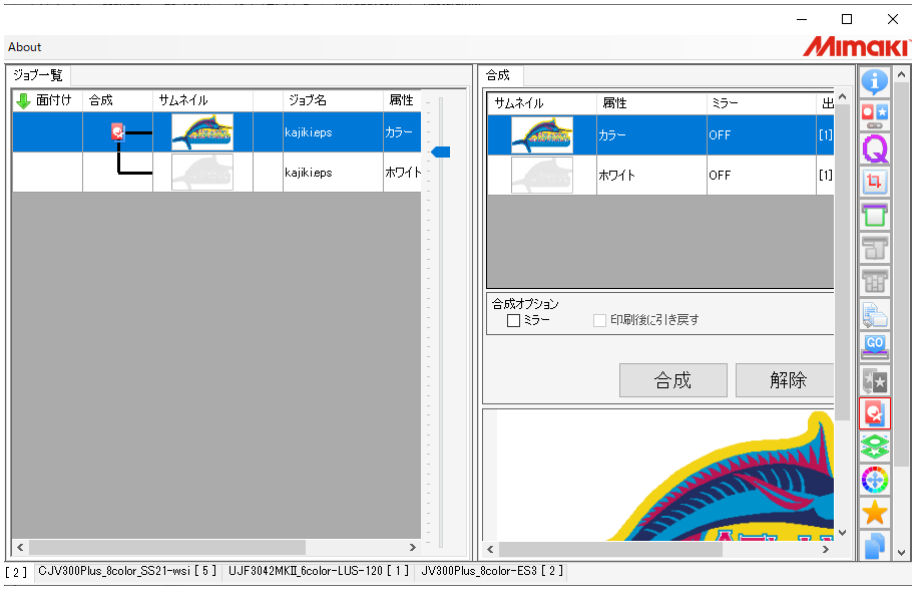
8 **[名前を付けて保存]ダイアログで、保存先とファイル名を入力し、[保存]をクリックします。**

- ホットフォルダーにファイルを保存すると、RasterLinkに自動的に読み込まれます。

9 RasterLinkの[プロパティ]タブで、[ジョブ属性] - [単色印刷]を選択し、特色に色を置換します。

- 詳しくは、別冊「RasterLink　リファレンスガイド」の「プロパティ」をご覧ください。

10 [ジョブ一覧]で手順9のジョブとカラー版を選択し、[合成]タブで[合成]をクリックします。



- 詳しくは、別冊「RasterLink　リファレンスガイド」の「合成」をご覧ください。

11 [実行]タブで、[開始]をクリックします。

- 印刷が実行されます。
- 元画像データの白部分にも、特色が印刷されます。

- 詳しくは、別冊「RasterLink　リファレンスガイド」の「実行」をご覧ください。

RasterLink用データを保存する

1 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [RL]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [RasterLink出力]を選択します。
- [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

2 **[名前を付けて保存]ダイアログで、保存先とファイル名を入力し、[保存]をクリックします。**

- ホットフォルダーにファイルを保存すると、RasterLinkに自動的に読み込まれます。

重要！ ファイル名、フォルダー名は以下の制限があります。
- Macintosh版Adobe IllustratorCS：ファイル名に半角英数字、2文字まで使用可能
- Macintosh版Adobe IllustratorCS6以降：フォルダー名に半角英数字のみ使用可能

3 **[EPSオプション]ダイアログで、[OK]をクリックします。**

- epsファイルが保存されます。

- [RasterLink出力]での保存データ形式はepsです。

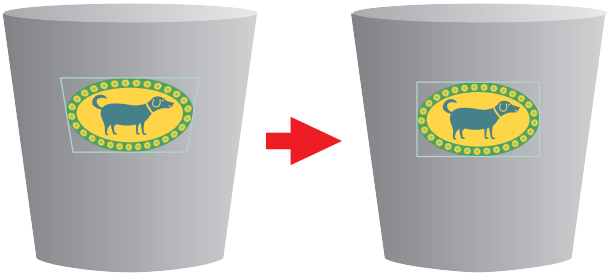
重要！ [RasterLink出力]では、複数の版をRasterLink上で合成して印刷する際に印刷位置がずれないようにするため、全てのデータが出力されます。
Adobe Illustrator上で非表示にしているレイヤーおよびオブジェクトの領域は余白になります。
印刷に余白を発生させたくない場合は、以下のいずれかの方法でRasterLinkにデータを送ってください。
- Adobe Illustrator上で非表示にしているレイヤーおよびオブジェクトを削除してから[RasterLink出力]を実行する
- [RasterLink出力]を使用せずにAdobe Illustratorの保存機能を使ってeps形式で保存し、手動でホットフォルダにデータを入れる

RasterLinkに読み込ませた後の操作については、別冊「RasterLink　リファレンスガイド」をご覧ください。

Kebab　テーパー印刷用画像データを作成する

対応システム	Kebab HS
対応RasterLink	RasterLink7 v.3.2.0以上
対応Mimakiドライバー	v.5.9.0以上

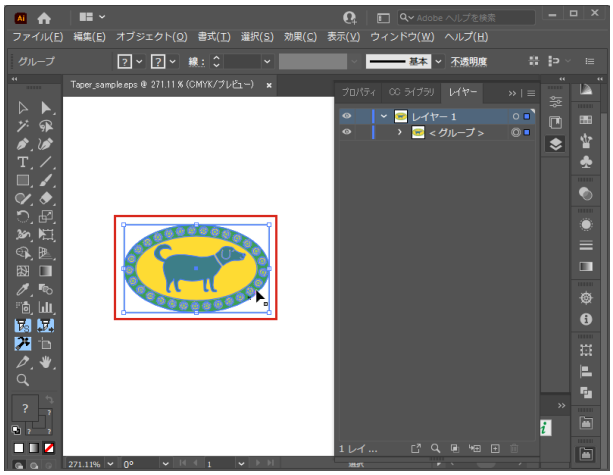
本機能は、Kebab印刷にて先頭に向かって傾斜している形状（テーパー形状）の円筒の側面に印刷するときに使用します。テーパー用に加工された画像を用いて印刷すると、正面から見て自然な見え方になります。



重要！
- デザインの幅は大円の円周の1/6以下にしてください。これ以上幅が大きくなる場合、印刷物が歪んで見えることがあります。本機能実行時に幅が大きい場合、「デザインが推奨幅を超えています。（推奨幅:**以内）」と表示されますので、メッセージに表示された幅以内に変更してください。

重要！ 以下の場合、本機能を使用できません。
- 複数のアートボードがある場合
- 画像データが埋め込まれていない場合（リンクファイル状態の場合）

1 加工するデザインを選択します。



2 [ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。
- または、[ファイル] - [RasterLink] - [Kebab　テーパー加工]を選択します。
- [Kebab　テーパー加工]ダイアログが表示されます。

3 [Kebab　テーパー加工]ダイアログで各項目の数値を入力します。

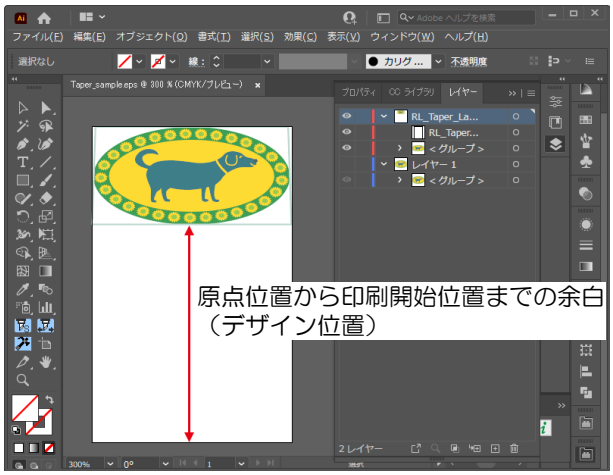
1. 大円の直径　　大きい面の直径を入力します。
2. 小円の直径　　小さい面の直径を入力します。
3. メディアの高さ　　メディアの高さを入力します。
4. デザイン位置　　原点位置から印刷開始位置までの余白を入力します。

4 デザイン位置　プリンタ本体で設定したKebab原点から、印刷開始位置までの長さを入力します。

重要！
- デザイン位置はプリンタ本体にて測定してください。測定方法についてはKebab HS取扱説明書の「作図開始位置を設定する」をご覧ください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

- テーパー用に画像が加工されます。
  - 元のデザインが非表示になります。
  - 原点位置から印刷開始位置までの余白を含めたアートボードが自動で再設定されます。再設定されたアートボードは変更しないでください。



6 [ファイル] - [別名で保存]を選択します。

- [別名で保存]ダイアログが表示されます。

7 保存先を選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。

- 保存する[ファイルの種類]は、”Adobe PDF (*.PDF)”を選択してください。

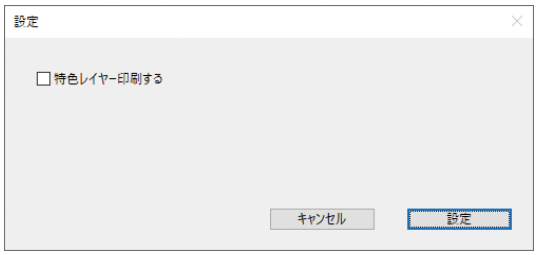
8 以降の手順は、Kebab HS システム取扱説明書の「データを作図する」をご覧ください。

RasterLinkToolsの設定を変更する

- Adobe Illustrator CS以降

1 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [設定]を選択します。



2 **設定後、[設定]ボタンを押し、画面を閉じます。**

● [特色レイヤー印刷する]

ONにすると、[RasterLink出力]を使いRasterLinkのホットフォルダに保存する際に、以下のスウォッチライブラリーに含まれる色を使った画像データはカラー用と特色用のジョブに分けて作成したのち、自動的に合成します。

- Mimaki RasterLink Library
- Mimaki SS21 Metallic Color Library
- Mimaki SS21 Metallic Orange Color Library

重要！ 以下の場合、カラー用および特色用のジョブが正しく作成されません。
- クリップされたデータを含む場合

● デザインにクリップされたデータが含まれている場合

デザインにクリップされたデータが含まれている場合は、次の手順で出力してください。

1 **[特色レイヤー印刷する]をオフにします。**

2 **カラー版、特色版を[RasterLink出力]で出力します。**

3 **RasterLinkでそれぞれのジョブを合成します。**

Mimaki RasterLink Library の特色カラーを使用する場合

- 特色ごとに特色版を作成してください。
- カラー版と特色版の位置合わせ用に、印刷データ全体を囲む、線なし、塗りなしの矩形パスを作成し、各版と合わせて出力してください。

Mimaki SS21 Metallic Color / Orange Color Library の特色カラーを使用する場合

詳細については、各プリンターの「メタリックカラー印刷ガイド」を参照してください。

RasterLinkToolsの更新を確認する

インターネットに接続して、RasterLinkToolsの更新情報を確認します。

1 **[ウィンドウ] - [Mimaki RasterLink] - [ ]アイコンをクリックします。**

- または、[ファイル] - [RasterLink] - [RasterLinkToolsについて]を選択します。
- [RasterLinkToolsについて]ダイアログが表示されます。

2 **[オンライン・インフォメーション]をクリックします。**

- RasterLinkToolsの更新情報が表示されます。
- [Adobe Illustrator起動時にRasterLinkToolsの情報を確認する]チェックボックスをオンにすると、Adobe Illustrator起動時に自動的に情報を取得して、RasterLinkToolsの更新情報が表示されます。

RasterLinkToolsガイド

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203626-23-05102026

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2022

MO
SW : 1.23.0